

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年12月15日

【発行者名】 UBSファンド・マネジメント（ルクセンブルグ）エス・エイ  
（UBS Fund Management（Luxembourg）S.A.）

【代表者の役職氏名】 メンバー・オブ・ザ・エグゼクティブ・ボード  
バルバラ・チェンバレン（Barbara Chamberlain）  
メンバー・オブ・ザ・エグゼクティブ・ボード  
アンドレア・パパゾーニ（Andrea Papazzoni）

【本店の所在の場所】 ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグ L - 1855、J.F.ケネディ通り  
33A番  
（33A avenue J.F. Kennedy, L-1855 Luxembourg, Grand Duchy of  
Luxembourg）

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 三浦 健  
弁護士 大西 信治

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング  
森・濱田松本法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 三浦 健  
弁護士 大西 信治

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング  
森・濱田松本法律事務所

【電話番号】 03（6212）8316

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券に係るファンドの名称】  
UBS（Lux）マネー・マーケット・ファンド  
- 米ドル  
（UBS（Lux）Money Market Fund - USD）  
（注）2023年12月15日付で、UBS（Lux）マネー・マーケット・ファンド - 米ドル・サ  
ステナブルはUBS（Lux）マネー・マーケット・ファンド - 米ドルに名称を変更  
しました。

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券の金額】  
UBS（Lux）マネー・マーケット・ファンド  
- 米ドル クラスF - a c c 受益証券  
20億米ドル（約2,609億円）を上限とします。  
（注）米ドルの円貨換算は2023年1月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信  
売買相場の仲値（1米ドル = 130.47円）によります。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2023年4月28日に提出した有価証券届出書(2023年7月31日付有価証券届出書の訂正届出書により訂正済。)(以下「原届出書」といいます。))について、2023年12月15日付でファンドの設立地における目論見書が変更され、サブ・ファンドの名称、投資方針および「別紙 - SFDR関連情報」が変更されましたので、これらに関する記載を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

## 2【訂正の内容】

(注) \_\_\_\_の部分は訂正箇所を表します。

## 表紙

&lt;訂正前&gt;

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券に係るファンドの名称

UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド

- 米ドル・サステナブル(UBS(Lux) Money Market Fund - USD Sustainable)

届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券の金額

UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド

- 米ドル・サステナブル クラスF - a c c 受益証券

20億米ドル(約2,609億円)を上限とします。

(注)米ドルの円貨換算は2023年1月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=130.47円)によります。

(後略)

&lt;訂正後&gt;

(前略)

届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券に係るファンドの名称

UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド

- 米ドル(UBS(Lux) Money Market Fund - USD)(注)2023年12月15日付で、UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド-米ドル・サステナブルはUBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド-米ドルに名称を変更しました。

届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券の金額

UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンド

- 米ドル クラスF - a c c 受益証券

20億米ドル(約2,609億円)を上限とします。

(注)米ドルの円貨換算は2023年1月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=130.47円)によります。

(後略)

## 第一部 証券情報

### (1) ファンドの名称

<訂正前>

UBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドル・サステナブル (UBS (Lux) Money Market Fund - USD Sustainable)

(注) UBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドル・サステナブル (以下「サブ・ファンド」ということがあります。) は、アンブレラ・ファンドであるUBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド (以下「ファンド」ということがあります。) のサブ・ファンドです。

<訂正後>

UBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドル (UBS (Lux) Money Market Fund - USD)

(注1) UBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドル (以下「サブ・ファンド」ということがあります。) は、アンブレラ・ファンドであるUBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド (以下「ファンド」ということがあります。) のサブ・ファンドです。

(注2) 2023年12月15日付で、UBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドル・サステナブルはUBS (Lux) マネー・マーケット・ファンド - 米ドルに名称を変更しました。以下同じです。

## 第二部 ファンド情報

### 第1 ファンドの状況

#### 2 投資方針

##### (2) 投資対象

<訂正前>

UBS アセット・マネジメントは、各サブ・ファンドを、サステナビリティ・フォーカス・ファンドに分類しています。各サブ・ファンドは、環境的および/または社会的特性を促進し、金融サービスセクターにおけるサステナビリティ関連開示に関する規則 (EU) 2019 / 2088 (以下「SFDR」といいます。) 第8条を遵守しています。環境的および/または社会的特性に関する詳細は本書の「別紙」に記載されます (SFDRの細則 (RTS) 第14条 (2))。

(中略)

サステナビリティに関する年次報告

「UBSのサステナビリティ報告書」はUBSによるサステナビリティ情報開示を行うための手段です。当該報告書は毎年公表され、オープンにかつ透明性をもってUBSのサステナビリティへのアプローチおよびサステナビリティに向けた活動を開示することを目的とし、UBSの情報ポリシーおよび情報開示に関する原則を一貫して適用しています。

<https://www.ubs.com/global/en/asset-management/investment-capabilities/sustainability.html>

サステナビリティ・フォーカス/インパクトファンド

UBS アセット・マネジメントは、一定のサブ・ファンドをサステナビリティ・フォーカス/インパクト・ファンドに分類しています。サステナビリティ・フォーカス/インパクト・ファンドは、ESG特性を促進するか、または投資方針に定められる特定のサステナビリティ目標を有します。

一般的リスク情報

(後略)

<訂正後>

各サブ・ファンドは、環境的および/または社会的特性を促進し、金融サービスセクターにおけるサステナビリティ関連開示に関する規則 (EU) 2019 / 2088 (以下「SFDR」といいます。) 第8条を遵守しています。環境的および/または社会的特性に関する詳細は本書の「別紙」に記載されます (SFDRの細則 (RTS) 第14条 (2))。

(中略)

## サステナビリティに関する年次報告

「UBSのサステナビリティ報告書」はUBSによるサステナビリティ情報開示を行うための手段です。当該報告書は毎年公表され、オープンにかつ透明性をもってUBSのサステナビリティへのアプローチおよびサステナビリティに向けた活動を開示することを目的とし、UBSの情報ポリシーおよび情報開示に関する原則を一貫して適用しています。

<https://www.ubs.com/global/en/asset-management/investment-capabilities/sustainability.htm>

1

## 一般的リスク情報

(後略)

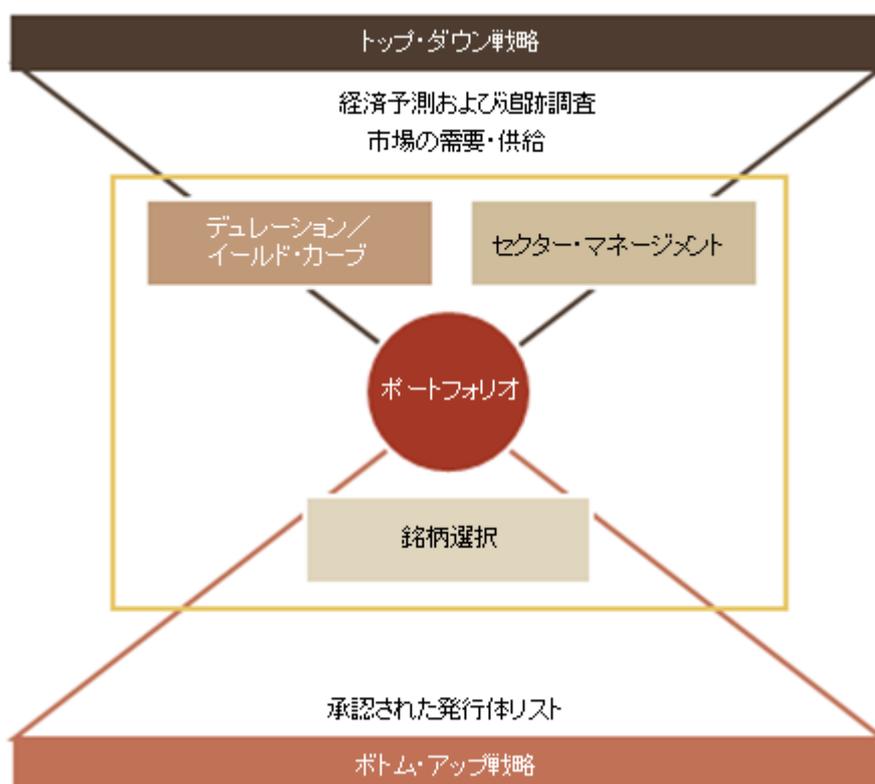
## (3) 運用体制

<訂正前>

(前略)

## ( ) 投資決定プロセス

(中略)



ポートフォリオの発行体は、5の基準(1 - 極めて低い、2 - 低い、3 - 普通、4 - 高い、5 - 極めて高い)を用いて発行体を評価する企業自身のESGリスク推奨を用いてESGリスクについて評価を受けます。ポートフォリオは、UBS ESGリスク推奨全体が1から3の間にあり、受け入れ可能なリスクであるとみなされる場合を除き、概して、(ESG統合の項に記載される)ESGリスク・ダッシュボードにおいて特定されるリスクのある企業発行体を除外します。

ポートフォリオへの各投資対象は、UBS ESGコンセンサススコア(1~10の基準で、10が最高のサステナビリティ・プロファイル)を有します。ポートフォリオへの投資の51%以上は、UBS ESGコンセンサススコアの6から10を有し、ポートフォリオが、環境的特性、社会的特性およびコーポレート・ガバナンス特性を促進することを示しています。

各サブ・ファンドはまた、社内分析が重大なマイナスの社会または環境リスクを伴うものとして強調する製品の製造または事業活動を行っている企業またはセクターを除外します。ポートフォリオは、タバコの生産、賭博、風俗、通常兵器または石炭により主な収益を得る企業または石炭ベースの電力を使ってその主な収益を得る企業への直接的な投資を行いません。

( ) リスク・マネジメントおよびリスク

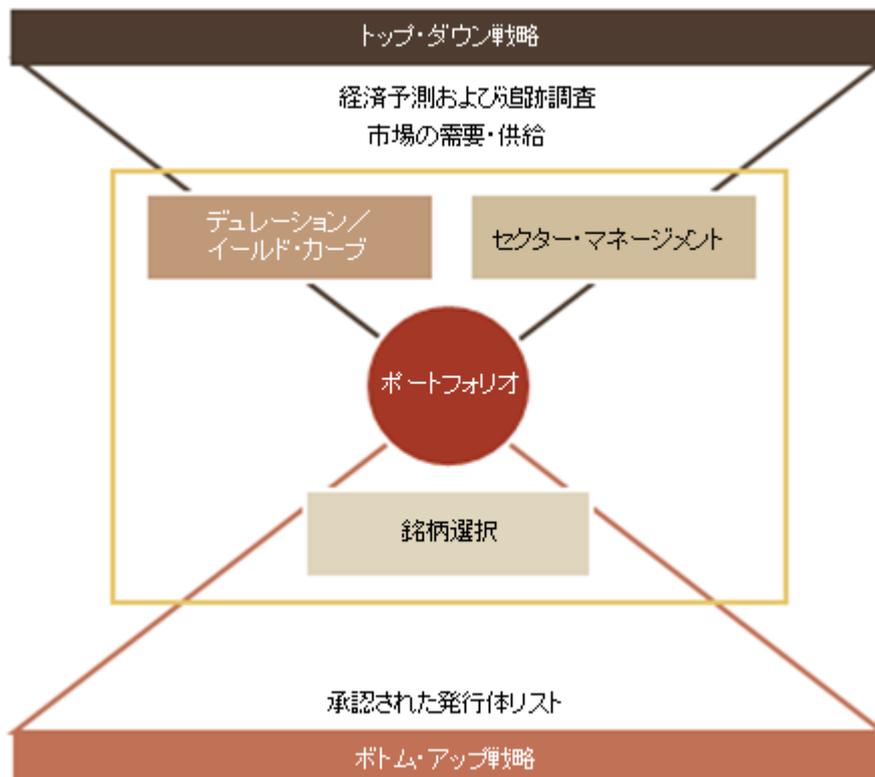
(後略)

<訂正後>

(前略)

( ) 投資決定プロセス

(中略)



ポートフォリオへの各投資対象は、UBS ESG コンセンサススコアを有します。資産の少なくとも51%が、UBS ESG コンセンサススコアスケールの上位50%に含まれるサステナビリティ・プロファイルを有する発行体に投資されます。

( ) リスク・マネジメントおよびリスク

(後略)

## 別紙 - SFDR関連情報

「別紙 - SFDR関連情報」は以下の内容に更新されます。

規則(EU)2019/2088 第 8 条第 1 項、第 2 項および第 2a 項ならびに  
規則(EU)2020/852 第 6 条第 1 項において言及される  
金融商品に関する契約前の情報開示

商品名:UBS(Lux)マネー・マーケット・ファンドー米ドル  
法人識別番号:549300U2620IQ1F7CT72

## 環境的および／または社会的特性

この金融商品は持続可能な投資目的を有しているか？

はい   いいえ

以下の経済活動に対して環境目的を有する持続可能な投資を行う比率(下限):\_\_%

EUタクソミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動

EUタクソミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動

社会目的を有する持続可能な投資を行う比率(下限):\_\_%

環境的／社会的(E/S)特性を促進するものであり、持続可能な投資を目的とはしていないものの、少なくとも\_\_%の比率で以下の持続可能な投資を行う

EUタクソミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格である経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

EUタクソミーに基づき環境的に持続可能なものとして適格でない経済活動への環境目的を有する持続可能な投資

社会目的を有する持続可能な投資

E/S 特性を促進するものではあるが、持続可能な投資を行わない

持続可能な投資とは、環境目的または社会目的に貢献する経済活動への投資をいう。ただし、当該投資は環境目的または社会目的を著しく害するものではないことおよび投資先企業が良好なガバナンス慣行に従っていることを条件とする。

EUタクソミーは、規則(EU)2020/852に定められる分類システムであり、環境的に持続可能な経済活動の一覧を定めたものである。当該規則には、社会的に持続可能な経済活動の一覧は含まれていない。環境目的を有する持続可能な投資は、タクソミーに適合している場合もあれば、適合していない場合もある。



## この金融商品により、いかなる環境的および／または社会的特性が促進されるか？

この金融商品により以下の特性が促進される。

- ・資産の少なくとも51%が、UBS ESGコンセンサススコアスケールの上位50%に含まれるサステナビリティ・プロファイルを有する発行体に投資されること。

持続可能性指標とは、金融商品により促進される環境的または社会的特性がどのように実現されるかを測定するものである。

### ● この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれの実現度を測定するためにどのような持続可能性指標が用いられるか？

上記の特性は、それぞれ以下の指標を用いて測定される。

強力な環境・社会パフォーマンスの特性または強力なサステナビリティ・プロファイルを有する投資ユニバースについて発行体／企業を特定するためにUBS ESGコンセンサススコアを用いる。このUBS ESGコンセンサススコアは、内部および認められた外部プロバイダーからのESGスコアデータの標準加重平均である。プロバイダー1社からのESGスコアに依拠する場合よりも、コンセンサススコアのアプローチは、サステナビリティ・プロファイルの有効性の確信度を高める。

UBS ESGコンセンサススコアは、環境、社会およびガバナンス(ESG)の側面に関して、関連する発行体／企業のパフォーマンス等の持続可能性要因を評価する。かかるESGの側面は、発行体／企業が事業を展開している主要分野およびESGリスク管理におけるその有効性に関連する。環境要因および社会要因には、(とりわけ)環境フットプリントおよび経営効率、環境リスク管理、気候変動、天然資源の使用、汚染・廃棄物管理、労働基準およびサプライチェーンの監理、人的資本、ボード・ダイバーシティ、労働安全衛生、製品安全性、ならびに詐欺防止および汚職防止のガイドラインが含まれる可能性がある。

サブ・ファンドの各投資対象は、UBS ESGコンセンサススコア(0~10の基準で、10が最高のサステナビリティ・プロファイル)を有する。個別の投資対象レベルでのUBS ESGコンセンサススコアの最小値は設定されていない。

### ● この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資の目的は何か、また持続可能な投資は当該目的にどのように貢献するか？

該当なし。

### ● この金融商品が一定程度行うことを予定している持続可能な投資は、環境面または社会面での持続可能な投資の目的に著しい害を及ぼすことをいかにして避けるのか？

該当なし。

--- 持続可能性要因への悪影響の指標はどのように考慮されているのか？

該当なし。

--- 持続可能な投資はOECD多国籍企業行動指針および国連ビジネスと人権に関する指導原則にどのように適合しているか？(詳細)

該当なし。

主要な悪影響とは、環境、社会および従業員に関する事項、人権の尊重、汚職防止および贈収賄防止に関する事項に関する持続可能性要因に投資決定が及ぼす最も重大なマイナスの影響である。

EUタクソミーは、タクソミー適合投資はEUタクソミーの目的を著しく害するものであってはならないという「著しい害を及ぼさない」原則を定めており、具体的なEU基準が伴う。

「著しい害を及ぼさない」原則は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮しているこの金融商品の原投資対象のみに適用される。この金融商品の残りの部分の原投資対象は、環境的に持続可能な経済活動に関するEU基準を考慮していない。

その他の持続可能な投資も、環境目的または社会目的を著しく害してはならない。



### この金融商品は持続可能性要因への主要な悪影響を考慮するか？

考慮する。

考慮しない。



### この金融商品が用いる投資戦略はどのようなものか？

#### ESG インテグレーション:

ESG インテグレーションは、リサーチ・プロセスの一環として重大な ESG リスクを検討することにより行われる。ESG インテグレーションにより、ポートフォリオ・マネジャーが投資決定に影響を及ぼす財務上関連する持続可能性要因を特定し、投資決定を実行に移す際に ESG に関する検討事項を組み入れることができるようになり、また ESG リスクを体系的にモニタリングし、リスク選好度およびリスク制約と比較することが可能となる。ESG インテグレーションは、有価証券の選定、投資に対する確信度およびポートフォリオの組入比率を通じてポートフォリオ構築にも役立つ。

・ 企業発行体の場合、このプロセスでは投資決定に影響を及ぼす可能性がある財務上関連する要因をセクター毎に特定する UBS 内部の ESG 重大問題の枠組みを利用する。財務上の重要性に対するかかる姿勢により、企業の財務パフォーマンス、ひいては投資リターンに影響を及ぼす可能性がある持続可能性要因をアナリストが重視することが確保される。また、ESG インテグレーションにより、企業の ESG リスク・プロファイルを改善し、これにより企業の財務パフォーマンスに対して ESG 上の問題が及ぼす潜在的な悪影響を軽減するためのエンゲージメントの機会を見出すことができる。ポートフォリオ・マネジャーは、重大な ESG リスクがある企業を識別するために、内部および外部の複数の ESG のデータ・ソースを組み合わせた UBS 内部の ESG リスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスに ESG リスクが組み入れられるようにするため、実用的なリスク・シグナルがポートフォリオ・マネジャーに対して ESG リスクを明確に示す。

・ 企業以外の発行体の場合、ポートフォリオ・マネジャーは、重要な ESG 要因に関するデータを統合した定性的または定量的な ESG リスク評価を適用する。

重大なサステナビリティ/ESG に関する検討事項の分析には、とりわけカーボン・フットプリント、健康および福祉、人権、サプライ・チェーンの管理、顧客の公平な取扱いならびにガバナンス等の様々な側面を含めることができる。

投資戦略は、投資目的およびリスク許容度等の要素に基づく投資判断の指針となるものである。

**サステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシー：**

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外（エクスクリージョン）事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針」に記載されている。

- **この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれを実現するための投資対象を選定するために用いられる投資戦略の結合要素はどのようなものか？**

この金融商品により促進される一または複数の特性を実現するための投資対象を選定するため、投資戦略の以下の一または複数の結合要素が用いられる。

資産の少なくとも51%が、UBS ESG コンセンサススコアスケールの上位50%に含まれるサステナビリティ・プロファイルを有する発行体に投資されること。

計算では、現金、デリバティブおよび無格付投資商品は考慮されない。

四半期末に、当該四半期のすべての営業日における価額の平均値を用いて、一または複数の特性ならびにこの金融商品により促進される環境的および／または社会的特性を満たすために利用される持続可能な投資対象の最低比率が計算される。

**サステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシー：**

ポートフォリオ・マネジャーのサステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシーは、この金融商品の投資ユニバースに適用される除外（エクスクリージョン）事項を概説したものである。サステナビリティ・エクスクリージョン・ポリシーへのリンクは、本書「投資方針」に記載されている。

- **当該投資戦略を適用する前に考慮される、投資範囲を縮小するための確約された最低比率はどのくらいか？**

該当なし。

- **投資先企業の良好なガバナンス慣行を評価するための方針とはどのようなものか？**

良好なコーポレート・ガバナンスは持続可能なパフォーマンスの主要な推進力であるため、ポートフォリオ・マネジャーの投資戦略に織り込まれている。ポートフォリオ・マネジャーは、重大なESGリスクがある企業を識別するために、内部および認められた外部プロバイダーからの複数のESGのデータ・ソースを組み合わせた独自のESGリスク・ダッシュボードを用いている。ポートフォリオ・マネジャーの投資の意思決定プロセスにESGリスクが組み入れられるようにするため、実用的なリスク・シグナルがポートフォリオ・マネジャーに対してESGリスクを明確に示す。良好なガバナンスの評価には、取締役会の構造および独立性、報酬の整合性、所有および経営の透明性ならびに財務報告について見ることも含まれる。

良好なガバナンス慣行には、健全な経営体質、従業員関係、スタッフの報酬および税務コンプライアンスが含まれる。



資産配分とは、特定の資産への投資の割合を説明するものである。

**この金融商品について予定されている資産配分はどのようなものか？**

この金融商品により促進される環境的および／または社会的特性を満たすために利用される投資対象の最低比率は51%である。

タクソミー適合活動は、以下のものに占める割合として表される。

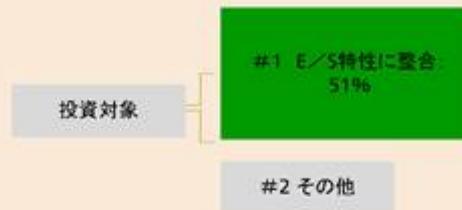
- 投資先企業のグリーン活動による収益の割合を反映した売上高
- 投資先企業が行うグリーン投資(例えば、グリーン経済への移行のためのもの)を示す資本的支出(CapEx)
- 投資先企業のグリーン事業活動を反映した事業運営費(OpEx)

EUタクソミーを遵守するために、化石燃料ガスに関する基準には、排出抑制および2035年末までの再生可能エネルギーまたは低炭素燃料への転換が含まれる。

原子力については、包括的な安全および廃棄物管理の規則がその基準に含まれる。

イネープリング活動とは、他の活動が環境目的に大きく貢献することを直接的に可能にするものである。

トランジショナル活動とは、低炭素の代替手段がまだ利用可能でない活動であり、とりわけ温室効果ガス排出水準が最高のパフォーマンスに相当しているものである。



#1 E/S 特性に整合には、この金融商品により促進される環境的または社会的特性を実現するために利用されるこの金融商品の投資対象が含まれる。

#2 その他には、環境的または社会的特性に整合しておらず、かつ、持続可能な投資対象としての適格性も有していないこの金融商品の残りの投資対象が含まれる。

### ● この金融商品により促進される環境的または社会的特性はデリバティブの利用によりどのように実現されるか？

この金融商品により促進される特性の実現のためにデリバティブは利用されない。デリバティブは、主としてヘッジ目的および流動性管理目的のために利用される。



### ● 環境目的を有する持続可能な投資は少なくともどの程度EUタクソミーに適合しているか？

該当なし。

### ● この金融商品はEUタクソミーを遵守する化石燃料ガスおよび/または原子力に関連する活動に投資するか？

投資する。

化石燃料ガスに投資する。

原子力に投資する。

投資しない。

以下の2つのグラフは、EUタクソミーに適合している投資対象の最低割合を線(本書に該当箇所はありません。)で示している。ソプリン債\*のタクソミー適合性を判断する適切な方法がないため、1つ目のグラフは、この金融商品のソプリン債を含むすべての投資対象に関してタクソミー適合性を示しているが、2つ目のグラフは、この金融商品のソプリン債以外の投資対象に関してのみタクソミー適合性を示している。

<sup>1</sup> 化石燃料ガスおよび/または原子力に関連する活動は、それが気候変動の抑制(以下「気候変動緩和」という。)に寄与し、EUタクソミーの目的を著しく害するものではない場合にのみ、EUタクソミーを遵守する。左欄外の注記を参照すること。EUタクソミーを遵守する化石燃料ガスおよび原子力の経済活動に関する完全な基準は、委員会委任規則(EU)2022/1214に定められる。



● **トランジショナル活動およびイネープリング活動への投資の最低割合はどのくらいか？**

該当なし。



● **EU タクソミーに適合していない、環境目的を有する持続可能な投資の最低割合はどのくらいか？**

該当なし。



● **社会的に持続可能な投資の最低割合はどのくらいか？**

該当なし。



● **どのような投資対象が「#2 その他」に含まれるのか、かかる投資対象の目的は何か、また最低限の環境セーフガードまたは社会セーフガードはあるのか？**

流動性管理およびポートフォリオ・リスク管理の目的のための現金および無格付商品が「#2 その他」に含まれる。無格付商品には、環境的または社会的特性の実現度の測定に必要なとされるデータを手入することができない有価証券も含まれることがある。



● **この金融商品がこの金融商品の促進する環境的および/または社会的特性に整合しているかを判断するための参照ベンチマークとして特定の指数が指定されるのか？**

この金融商品がこの金融商品の促進する特性に整合しているかを判断する目的のために指定されているESG参照ベンチマークはない。

● **参照ベンチマークは、この金融商品により促進される環境的または社会的特性それぞれとどのように継続的に整合するのか？**

該当なし。

● **投資戦略と指数の手法の整合性はどのように継続的に確保されるのか？**

該当なし。

は、EU タクソミーに基づく環境的に持続可能な経済活動の基準を考慮していない、環境的に持続可能な投資である。

参照ベンチマークとは、金融商品が当該金融商品の促進する環境的または社会的特性を実現するかを測定するための指数である。

- **指定指数は、関連する広範な市場指数とどのように異なるのか？**

該当なし。

- **指定指数の計算に用いられる方法についてはどこを参照すればよいか？**

該当なし。



**より詳細な商品特有の情報をオンラインで探す場合、どこを参照すればよいか？**

より詳細な商品特有の情報は、ウェブサイト([www.ubs.com/funds](http://www.ubs.com/funds))で参照することができる。